

令和6年度使用 茨城県第4採択地区 教科用図書の採択理由書

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 添田 智

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
算数	61・啓林館 わくわく算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての時間で「めあて」と「まとめ」を例示数し、児童自らが問いや見通しを立てて解決に向かうことができるよう配慮されている。 ○ 各単元末にある「学びのまとめ」では、「たしかめよう」（知識・技能に関する問題）や「ふりかえろう」（見方・考え方などの確認）、「やってみよう」（発展・応用的な問題）の3部構成となっていて、習熟度や興味・関心に応じて学習を進められるよう配慮されている。 ○ 類似内容を複数の単元に分け、習熟の時間が確保できるよう配慮されている。（第5学年「割合」を3つの単元に分けて扱っている。） ○ キャラクターの吹き出しが多数掲載されているが、価値づけたい数学的な見方・考え方にはマーカーを付して強調するなど工夫されている。 ○ 日常の事象における課題や既習内容を問題として取り上げ、数学的活動を通して数理的に処理する技術が身に付くよう工夫されている。 ○ 2次元コードが必要に応じて多数（全学年合計 約1,600）印刷されている。タブレット端末で読み取ると、学習内容に関連した動画や図、練習問題 等が提示されるので、児童一人ひとりの学びをサポートできるよう工夫されている。 ○ 3年生以上で学年末に「わくわくSDGs」単元を新設した。データをまとめたり教科横断的な 学びを行ったりすることで、自分たちに何ができるか考えることができるよう工夫されている。 ○ 1～4年生の教科書は分冊（1年生はA4版とB5版、2～4年生はB5版）となっている。分冊によって荷物の軽量化が図れるよう配慮されている。